

科目	ハンドクラフト	単位数	2
区分	選択	配当年次	3または4年次

1 科目の目標

生活の中の身近な材料を用いて、書く、折る、貼る、縫う、織る、編む、染めるなどの技法で生活にまつわる様々なものを製作する活動を通じて、製作技術を身につけるとともに、伝承してきた手作りの生活文化や歴史についても関心を深める。

2 科目の評価の観点と評価基準

評価の観点	知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 日常生活の営みに必要な技能を身に付けている。 	生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働して、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
評価基準	a: 十分満足できる状況	a: 十分満足できる状況	a: 十分満足できる状況
	b: おおむね満足できる状況	b: おおむね満足できる状況	b: おおむね満足できる状況
	c: 努力を要する状況	c: 努力を要する状況	c: 努力を要する状況

3 評価方法と評価の場面

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントの完成度 作品の完成度 	<ul style="list-style-type: none"> 作品（製作過程を含む） 学習プリントの完成度 授業中の回答 話し合いの中での発言 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での説明を聞く態度 学習プリントへの取り組み 実習への取り組み 話し合いの中での発言 出席状況 生徒の自己評価

4 年間指導計画

		学習の内容	考査	時数
前期	4月	手作りの基礎		16
	5月	手作りの基礎		
	6月	素材の知識と活用		13
	7月	素材の知識と活用		
	8月	文化祭にむけての作品製作		
9月	文化祭にむけての作品製作	16		
10月	文化祭にむけての作品製作			
後期	11月	自由製作（ミシン使用可）		18
	12月	自由製作		
	1月	自由製作		15
	2月	自由製作		
	3月	自由製作		

5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

日常の中で、手作りの品に関心を持ってほしい。

6 教科書・副教材

教材費 ¥ 2 5 0 0 円を集金予定。

令和7年度 学習の手引き(シラバス)

専門学科

科目名	フードデザイン	単位数	2単位
区分	選択	配当年次	3年次

1 科目の目標

栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

2 科目の評価の観点と評価基準

評価の観点	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 ・日常生活の中で食生活の営みに必要な技能を身に付けている。 	生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働して、食生活の充実に実向上を図り、実践しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査①～⑤の成績 ・学習プリントの完成度 ・実習での状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査①～⑤の成績 ・作品(製作過程を含む) ・学習プリントの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での説明を聞く態度 ・学習プリントへの取り組み ・実習への取り組み ・出席状況 ・生徒の自己評価

4 年間指導計画

	月	学習の内容	考査	時数
	前期	4月	・食事の意義と役割	定期考査①
5月		・食生活の現状と課題		
6月		・栄養素のはたらきと食事計画	定期考査②	15
7月		・食品の特徴と性質	定期考査③	16
8月				
9月				
後期	10月	・調理の基本	定期考査④	16
	11月			
	12月	・料理様式とテーブルコーディネート	定期考査⑤	16
	1月	・食文化		
	2月			
	3月			

5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

・実験・実習など、実践や体験を通して学ぶことを重視する。

6 教科書・副教材

フードデザイン (実教出版)
生活学-Navi- (実教出版)

令和7年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	家庭総合①	単位数	2単位
区分	必修	配当年次	1年次

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 科目の評価の観点と評価基準

評価の観点	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	・生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、保育・福祉、衣生活、住生活についての知識を身に付けている。 ・家族・家庭、保育・福祉、衣生活、住生活における生活の営みに必要な技能を身に付けている。	生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働して、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
・定期考査①～⑤の成績 ・学習プリントの完成度 ・作品の完成度	・定期考査①～⑤の成績 ・作品(製作過程を含む) ・学習プリントの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・学習プリントへの取り組み ・実習への取り組み ・話し合いの中での発言 ・出席状況 ・生徒の自己評価

4 年間指導計画

	月	学習の内容		考査	時数
	前期	4月	衣生活	①人の一生と被服 ②被服材料と管理	定期考査①
5月		③これからの衣生活			
6月		④被服の製作		定期考査②	15
7月					
8月		住生活	①人の一生と住まい ②住生活の計画と選択	定期考査③	16
9月					
後期	10月	家族関係	①生涯の生活設計 ②家族・家庭と社会のかかわり	定期考査④	16
	11月		③ともに生きる		
	12月		保育関係		
	1月	③子育て支援と福祉			
	2月				
	3月				

5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

・実験・実習など、実践や体験を通して学ぶことを重視する。

6 教科書・副教材

高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる (第一学習社)
生活学-Navi- (実教出版)

科目名	家庭総合②	単位数	2単位
区分	必修	配当年次	2年次

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 科目の評価の観点と評価基準

評価の観点	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	<ul style="list-style-type: none"> 生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、保育・福祉、衣生活、住生活についての知識を身に付けている。 家族・家庭、保育・福祉、衣生活、住生活における生活の営みに必要な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働して、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査①～⑤の成績 学習プリントの完成度 作品の完成度 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査①～⑤の成績 作品(製作過程を含む) 学習プリントの完成度 授業中の回答 話し合いの中での発言 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での説明を聞く態度 学習プリントへの取り組み 実習への取り組み 話し合いの中での発言 出席状況 生徒の自己評価

4 年間指導計画

	月	学習の内容		考査	時数
	前期	4月	経済生活		
	5月		②消費者問題を考える		
	6月		③消費生活と持続可能な社会	定期考査②	15
	7月	家族・家庭	①家族に関する法律	定期考査③	16
	8月		②家族法の理念と背景		
	9月		③結婚と変化する家庭		
後期	10月	生活設計	①生涯の生活設計	定期考査④	16
	11月		②キャリア形成		
			③ワークライフバランスをもとめて		
	12月	高齢社会	①高齢者の生活	定期考査⑤	16
	1月		②高齢社会を支える		
2月		③社会福祉			
	3月				

5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

・実験・実習など、実践や体験を通して学ぶことを重視する。

6 教科書・副教材

高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる (第一学習社)
生活学-Navi- (実教出版)